

事務事業マネジメントシート（20年度実績と21年度計画）

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 24 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 5 月 19 日 作成

事務事業名		市民憲章・市の花・市の木普及啓発事業				☐ マニフェスト 関連 ☐ 全庁横断 課題関連 ☐ 集中改革 プラン関連			
総合計画体系	政 策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	濱田 善也
	施 策	14	市民参画によるまちづくりの推進			所属課	企画財政課	担当者名	中村 奈利
	基本事業	41	自主的地域づくり(まちづくり)への意識の高揚			所属班	政策企画班	(内線)	1242
予算科目		会計 1	款 2	項 1	目 11	事業連番 -	☒ 20年度で終了 ☐ 21年度から開始		成果優先度評価結果 6 コスト削減優先度評価結果 6
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 H18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)									
【事業の内容】 平成18年度の憲章・市の花・市の木の制定を受け、合併に伴う新市の一体化、市のイメージを創出するため、普及啓発を行なう事業である。 【業務の流れ】 これまでにパネルを行政区や自治会に配付するとともに、大型看板を設置(両庁舎2箇所)している。引き続き、各種計画書の見開きページ等への掲載など、市民をはじめ外部にもPRを行い、周知活動を行う。 【主な予算費目】 なし。									

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 作成される冊子や計画書等に掲載されるよう機会を捉えて働きかけた。 市民憲章においては、各学校へポスターを配布し授業に取り入れてもらった。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) → ア 普及啓発のための活動件数 件 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) → ア 人口 人 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 制定された市民憲章を市民に理解してもらう。 市の木・市の花が知られ、普及している。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) → ア 市民憲章を知らず尋ねてきた市民の数 人 イ 市の木・市の花を尋ねてきた市民の数 人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) まちづくりへの理解が深まる。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) → ア まちづくりに取り組みたいと思う市民の割合 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

			単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							総トータルコスト (期間限定複数年度のみ記載)		
		都道府県支出金	千円										
		地方債	千円										
		その他	千円										
		繰入金	千円										
		一般財源	千円		390								
		(A)事業費計	千円	0	390	0	0	0	0	0		0	0
	人件費	うち指定経費	千円										
		うち時間外、特殊勤務手当	千円										
		正規職員従事人数	人	4	3	3	2						
延べ業務時間	時間	290	108	40	8								
(B)人件費計	千円	1,151	430	159	32	0	0	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)			千円	1,151	820	159	32	0	0	0	0	0	
活動指標			ア イ	3	234	40					目標総合計画 22年度		
対象指標			ア イ	52536	53909	54518	54407						
成果指標			ア イ 人 人	未把握 未把握	4 2	3 2	0 0						
上位成果指標			ア イ %	61.2	64.5	63	62.5						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
合併協議での「新たに新市で定める」として確認されたものであり、市の一体感の醸成と新市のイメージの統一、市民の道德意識を高める努力目標として平成18年度に制定。19年度以降はその周知と普及を推進するものである。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
市民憲章については旧町それぞれの町民憲章を制定していたが、合併により志志市の市民憲章を制定することとなった。制定過程においても市民の意見を反映させるためパブリックコメント等を実施するとともに、議会議員や総合政策審議会委員から意見を求め、平成19年3月市議会定例会において議決された。市の木・市の花についても平成18年度に制定し、合併記念式典等で発表を行うとともに広報やホームページに掲載した。市の花に制定されたカスミソウ生産者はPRを願っているが、一般市民として身近に感じてもらうための栽培方法の研究や広めの方策検討が必要である。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
総合政策審議会に対し、大きな看板を設置して周知に努めるよう要望があげられており、市庁舎の限られた場所に設置したが、設置後は字が読めない程の大きさのため効果がないという意見がある。

事務事業名	市民憲章・市の花・市の木普及啓発事業	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	--------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE)＊原則は20年度的事後評価、ただし複数年事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 市の一体感を醸成し身近に感じてもらうことで、自主的な地域づくり(まちづくり)への意識を高めてもらうことにつながり、結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 市の憲章を定めるものであり、公的な関与は妥当である。 市の木・市の花についても、市のイメージを創出しPRしていくものであり妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 制定後は市民に知ってもらうことが必要であり、対象・意図とも適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 職員への浸透が進み、作成される冊子や計画書等に掲載されるようになったことや、ホームページへも常時掲載していることにより周知を図っている。また転入者に対しても見開きに市民憲章・市の花・市の木を掲載した総合計画概要版を配布し周知を促しているため、今後個別の普及啓発事業としては休止する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☒ 影響無 ⇒【理由】21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ☐ 影響有 ⇒【その内容】 職員への浸透が進み、作成される冊子や計画書等に掲載されるようになったことや、ホームページへも常時掲載していることにより周知を図っている。また転入者に対しても見開きに市民憲章・市の花・市の木を掲載した総合計画概要版を配布し周知を促しているため、今後個別の普及啓発事業としては休止する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) 各種計画書等作成事業・ホームページ管理運営事業 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 各種計画書等に掲載のうえ配布したり、ホームページに掲載することにより周知を図る。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 職員への浸透が進み、作成される冊子や計画書等に掲載されるようになったことや、ホームページへも常時掲載していることにより周知を図っている。また転入者に対しても見開きに市民憲章・市の花・市の木を掲載した総合計画概要版を配布し周知を促しているため、今後個別の普及啓発事業としては休止する。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 職員への浸透が進み、作成される冊子や計画書等に掲載されるようになったことや、ホームページへも常時掲載していることにより周知を図っている。また転入者に対しても見開きに市民憲章・市の花・市の木を掲載した総合計画概要版を配布し周知を促しているため、今後個別の普及啓発事業としては休止する。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 広報をはじめ、HPや市民の目につく機会を捉えて普及啓発を行なう事業であり、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☒ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善) ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善) ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 職員への浸透が進み、作成される冊子や計画書等に掲載されるようになったことや、ホームページへも常時掲載していることにより周知を図っている。また転入者に対しても見開きに市民憲章・市の花・市の木を掲載した総合計画概要版を配布し周知を促しているため、今後個別の普及啓発事業としては休止する。		(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1)目的の直結度	8	(直結度高い 1～3 直結度中 4～6 直結度低い 7～9)
(2)貢献度	11	(貢献度高い 1～3 貢献度中 4～9 貢献度低い 10～12)

合志市